



自治体の業務改善の推進について

いとう 伸一



Q

人口減少社会において、少人数で業務を行う時代に備えた生成AIの試行結果を伺う。改善は横展開し、全職員に周知して進めてほしい。

A

企画部長／生成AIの活用により、文書業務やデータ処理等に効果が期待される。一方、出力内容に誤りが含まれることがあるため、職員による確認を前提とし、セキュリティに配慮した環境で活用を進める。また、「生成AI活用ノート」などにより、活用方法や事例を共有し、多くの職員への横展開を図っていく。



「健康都市」と「スポーツ」の融合について

安田 吉宏



Q

「スポーツ振興」について、本市の今後のビジョンは？

A

市長公室長／「健康都市」の観点を踏まえた上で、市民のスポーツ参画を促進し、本市の新たなセールスポイントになるよう「スポーツ振興」に取り組む。スポーツ施設の環境整備はもちろん、指導者の育成などスポーツに関わる人を増やす工夫も併せて実施し、スポーツを行う市民を増やす好循環を生み出したい。
健康都市・スポーツ課長／健康都市ブランドの向上に資する「スポーツ推進計画」について、今後調査研究していく。



市職員の心のケアについて

櫻井 直樹



Q

市職員の心の健康は、どのようにケアされているのか。また、昼休憩場所として、空いている会議室を使用できないか伺う。

A

企画部長／労働安全基準法に基づくストレスチェックを行い、結果を通知するとともに、産業医の健康相談や臨床心理士によるカウンセリングを実施している。昼休憩場所は、地下食堂や喫茶室があるが、新型コロナウイルス感染症対策として会議室の利用も推進してきた。現在は利用者が少ないので、職員に周知していきたい。



新1年生の交通安全対策の強化を

丸山 幸子



Q

新1年生に対して配付されてきたランドセルカバーと黄色い帽子の視認性向上に対する市の見解と、今後の予算計上についての考えは？

A

教育部長／新1年生はまだ身体が小さく背丈も低いため、運転席からは死角に入りやすい存在である。そのため、視認性を向上することは、交通安全対策の強化に大きく貢献するものと認識している。今後は、全てを公費で対応するだけでなく、地元の企業様と共に新1年生の入学を祝い、交通事故から守る取組を継続していきたい。





ごみ集積所の適正管理に向けた取組について

芦原 美佳子



Q

ごみ集積所の適正管理を促進するため、デジタル技術の活用を！

A

市民生活部長／ごみ集積所の位置情報管理や通報システムなどのデジタル技術は、ごみ集積所情報を正確に把握でき、市民からの問合せへの迅速な対応など市民サービスの向上につながると考えている。また、収集ルート策定や作業の効率化により、運用コストの最適化に寄与し、多くの自治体でも活用されている。今後は、他自治体の事例も参考に費用対効果を踏まえ調査研究していく。



失語症のある方が孤立しない社会に

勝股 修二



Q

失語症は外見で判別しにくく、深刻な社会的孤立を招く「目に見えないバリア」がある。長期的な回復には地域での「人のつながり」が最高のリハビリになる。実態調査や会話パートナーの養成、サロン設置等の具体的な支援について伺う。

A

健康福祉部長／必要性は認識している。まずはホームページ等での周知啓発により、周囲の理解が得られやすい環境づくりに努める。また、他自治体の事例について情報収集等を行い、効果的な支援方法を研究していく。



自転車の道路交通法改正

秋田 さとし



Q

令和8年4月1日より自転車の道路交通法改正が始まる。市民への周知方法や啓発について、また事故情報のデータを地図上に落とし込み事故多発地点の見える化ができないか。

A

市民生活部長／道路交通法改正の内容について、広報おわりあさひやホームページ等で周知をする。事故情報については、警察庁の交通事故統計情報のオープンデータを基に、可視化する取組を行っている先進事例等を参考に、今より一歩進んだ形での情報の見える化について研究していく。



林野火災注意報・警報について

日比野 和雄



Q

林野火災注意報・警報発令時の周知について

A

消防長／本年、1月1日から運用を開始した林野火災注意報・警報の発令は、林野火災が起きやすい1月から5月の期間で降水量や降雨の推移などの気象状況から林野火災の発生及び拡大の危険性が高まった際に発令される。また、林野火災注意報、警報が発令された場合には、市ホームページへの掲載、あさひ安全安心メールでの配信や防災アプリなどを活用して市民への周知を図っている。



酷暑時の避難先を増やそう！

川村 つよし



Q

年々、夏の暑さが厳しくなっている。酷暑時の子どもの居場所を増やし、運動できる場所を作ろうと考え、小学校体育館のエアコン設置を具体的に進める際、温暖化対策として断熱対策も欠かせない。どのような計画か。

A

教育部長／中学校体育館については、遮熱塗料を屋根に塗装するなど実施している。小学校体育館については、来年度空調設備を整備するための設計の中で具体的な断熱対策の工法を検討することとしている。

介護保険ケアプラン作成の無料維持を

榊原 利宏



Q

住宅型有料老人ホーム等のケアプラン作成の有料化の案についての見解はいかがか。利用者、ケアマネジャーなどの現場の声を聴き、必要に応じて国に物申すべきではないか。

A

健康福祉部長／ケアプランの有料化については、国の介護保険部会においても様々な議論が行われており、2027年度までに結論が得られるとされていることから、今後も継続して情報収集を行うとともに、国の動向を注視していく。

女性へのAED使用、ためらいなく救命するために

大島 もえ



Q

救命現場での女性へのAED使用率が男性の約半分というデータがある。「衣服を脱がせる」ことへの心理的抵抗を減らし、プライバシーを保護しつつためらいなく救命できるよう、配慮ある救命について伺う。

A

消防長／救命講習で「衣服を全て脱がさなくてもよい。」と指導しているが、今後は備え付けの圧縮ブランケット等の活用も含め、SNS等で幅広く啓発し、誰もがちゅうちょなく救命に協力できる体制を整えていく。

市役所駐車場の戦略的活用について

山下 幹雄



Q

市中心部にはまだ伸びしろがある。行政サービスとしての来庁者向けという観点から、駅近を生かした戦略的活用が必要だ。市内外から有効に利用してもらえる駐車場施設整備を公民連携により研究してはどうか。

A

総務部長／民間事業者による駐車場の有効活用は、採算面などに課題もあるが、様々な事例について情報収集するなど調査研究していく。

